

尾花沢での農業生活1年生



農業研修生(和歌山県串本町出身)

速水優行

4月上旬、尾花沢市を訪れた折、横殴りの吹雪に遭遇しました。手荒い歓迎に身の引き締まる思いでした。故郷を出るときは桜が散りかけていましたので・・・

はじめまして。本州最南端の和歌山県串本町よりまいりました速水優行と申します。串本町は海と山に囲まれた小さな田舎町です。年間を通じて温暖で、雪はめったに降りません。主な特産品は世界で初めての養殖マグロを始めとする海産物や柑橘類や梅です。観光地として、熊野古道や那智の滝、橋杭岩などが有名です。またラムサール指定の海洋地域があり、トルコとの友好地としても有名です。『おばね』と私の出会いは昨年の十一月に東京の池袋で開催された農業説明会です。この中で尾花沢の皆さんから色々なお話を伺い、農業支援制度に応募をしました。現在は荻袋の矢萩農園さんで西瓜職人の見習いとしてお世話に

なっています。暑さが厳しい毎日ですが、本格的な出荷作業も始まり、街全体が活気づいてきました。作業が終わった後、ばんげの晩酌も格別な味です。実習先の矢萩さんや市の農林課の皆さん、近所の皆さん方からはいつも大変お世話になり、本当に感謝しています。いただいたご縁を大切に、大きく育てるべき努力したいと思います。毎日汗をかいています。ばんげ・・・



研修先の矢萩農園さんのハウスで

行政視察に 来市された議会

◎5月11日(水)
三重県三重郡菟野町
産業建設常任委員会
5名
銀山温泉景観保全など観光施設について

◎7月12日(火)
北海道紋別市
新風の会
6名

定住推進ふるさと暮らし応援事業について

あとがき

♪山は緑に水清く
稲穂は黄金の波を打つ♪
市民歌の歌詞の如く間もなくそんな季節になろうとしております。新たに編成された編集委員も早や一年、それぞれがモチベーションを発揮し、いかにして市民の皆様親しんで頂けるかを課題に毎回、四苦八苦しております。さらに7月10日投票の参議院選から18歳以上の選挙権年齢拡大が70年ぶりに施行され、本市では308名の方が選挙権を有する事となりました。それを受けて今回は若者の声を聞くためにアンケート調査の新企画も盛り込みました。初めての投票に戸惑いを感じながら投票に行かれた方や、都合で行けなかった方も含め、今後に参加意欲が芽生える事に御期待致します。
(菅原和子)

表彰

全国市議会議長会表彰規定に基づき、本市の発展に尽くされた功績により表彰状が伝達されました。

全国市議会議長会表彰

(勤続20年)

菅根光雄 議員

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

市議会だより 90号

平成28年7月29日発行

6月定例会

- 6月定例会議案の審議……………2
- 一般質問……………4～7
- 特集……………8
- 講師……………10
- 広域組合議会報告……………11
- 私のひとこと……………12



玉野小学校3、4年生によるサクラソウの放流



市のホームページから 市議会インターネット中継・録画も見てください!

どう活かす!?

地方創生を

子育て
日本一!
めざして

主な議案と補正予算

ロータリ除雪車購入 1,728万円

消防ポンプ自動車購入 2,524.5万円

常盤小学校放課後児童クラブ委託料 252.8万円

安久戸地区遊具整備 250万円
(コミュニティ助成事業補助金)

尾花沢市上柳健康増進施設の設置
及び管理に関する条例



可決



定例会のあらまし

平成28年度6月定例会は、6月14日から21日までの会期で開催されました。すでに実施されている専決処分8議案を承認し、平成28年度一般会計補正予算など9議案と1議案を審議し、全会一致で可決されました。また市側が1議案を撤回し、8人の議員が一般質問を行いました。

「庄雪車購入」議案 市が撤回

議会は業者選定方式に異論

市は21日、6月定例会に提案した「花笠高原スキー場庄雪車購入契約締結案」を議会の承認が得られないと判断し、撤回した。市は6月1日にプロポーザル方式で物品購入は不適切、「通常の指名競争入札でいけないのか」など異論が出た。市は説明に当たったが、理解を得られず、加藤市長が本会議で撤回を申し出、許可された。



(注) プロポーザルとは?

建築設計を委託する上で、最も適した「設計者」を選ぶ方式です。技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制などを含め、プロポーザル(提案書の提出を求め、公正に評価して設計者を選ぶ方式)です。

政務活動費 月額1万円に

市の財政事情から、政務活動費はこれまで月額5千円で県内13市の中で最低でした(図表参照)が、国会議員への要望活動・先進地視察・調査研究活動を行うために拡充を求める議案が、全会一致

で月額1万円の支給で可決されました。なお政務活動費は、収支報告書を提出することが義務付けられており、使われなかった分は市に返還することになっています。

山形県内13市政務活動費 (平成28年6月現在)

No.	自治体	月額	No.	自治体	月額
1	山形市	100,000円	8	東根市	12,500円
2	鶴岡市	30,000円	9	上山市	10,000円
3	酒田市	25,000円	10	村山市	10,000円
4	米沢市	23,000円	11	長井市	10,000円
5	新庄市	15,000円	12	南陽市	10,000円
6	寒河江市	15,000円	13	尾花沢市	5,000円
7	天童市	13,000円		平成28年7月より	10,000円

平成27年度の政務調査費使途状況

会派別	支払総額			
	おばねクラブ	市政クラブ	翔政会	無会派
調査、研修費	0	116,930	84,330	61,588
要請、陳情活動費	241,500	77,340	89,470	83,200
資料購入費	0	0	0	25,986
事務所費	0	0	0	14,737
合計(円)	241,500	194,270	173,800	185,511
返還金	0	0	0	0

*平成27年度は市議会議員の改選期であったために、一人当たり40,000円(8か月分)の政務調査費が支給されました。
*政務調査費の使途内容は全て適正であると認められました。

災害対策の充実をはかるべき



小関 英子議員

Q 市内において24時間利用可能なAED(自動体外式除細動器)の設置は何ヶ所あり、設置場所の周知はどうしているか。

A 市内のAEDの設置は公共施設のほか、民間企業などに聞き取り調査を行なった所51ヶ所に設置されており、ホームページに掲載し周知している。24時間体制のAEDは緊急時に非常に重要と考えている。

Q 防災士の資格取得者は現在何名で自主防災組織との連携はなされているか。

A 防災士の資格取得者は6名おり、これまで2回打ち合わせを

行っています。10月2日開催予定の市の防災訓練への指導など、今後も防災士と自主防災組織との連携を支援していきたい。

Q 災害時対策として、地域ごとのハザードマップや指定避難所を使用し、より実践的な防災訓練を実施すべきではないか。



防災用品

A 自主防災組織向上支援事業により、自主防災組織における防災訓練実施費用に助成を行なう制度があり、毎年各地区・区長会で説明を行なっている。

ハザードマップの活用や指定避難所の使用なども含めて説明し、訓練内容にも指導・助言を行ない、各自自主防災組織で訓練を実施できるように積極的に働きかけ、地域防災力の向上に努めていきたい。

Q 災害時における要援護者の人数、住所などの把握はされているのか。

A 高齢者世帯など災害時要援護者世帯は1344世帯で、災害時登録台帳の開示に同意された世帯は931世帯である。登録台帳は、総務課危機管理担当部局・地域包括支援センター・民生委員で情報を共有し、災害時外でも見守り活動を行なっている。災害時は関係機関とも連携をはかり迅速に対応していきたい。



伊藤 浩議員

山間地の耕作放棄農地を防止するための農業政策を進めよ



Q 農業後継者不足や従事者の高齢化により、耕作放棄地が増えている。尾花沢市の貴重な財産でもある農地を守るために、今後どのような政策を進めるのか。

A 中山間地域が7割を超える本市にとって重要な課題である。今までに進めてきた「中山間地域等直接支払い交付金制度」「多目的機能支払交付金制度」に加えて新たに「中山間地域等持続的農地保全支援事業」を展開していきたい。また市の単独事業として「農地担い手支援事業」を創設し、耕作放棄地の拡大抑制につとめたい。

Q 農業新規参入者受入事業で、今後どのような支援や受入体制を考えているのか。

A 「尾花沢市元気な農業支援事業」のメニューのひとつとして新設し、現在3名の方がこの事業に参加している。住宅費の支援、活動用車両への支援、2年間の研修期間の生活費に係わる支援を行ないながら、市外・県外からの新規就農者を募り、本市農業の活性化につなげていきたい。

めるべきと考えるか。
A ここ3年間の新規就農者は27名となっているが、45歳未満の方を対象とした「農業後継者等対策事業」では経営規模拡大などに係わる農機具購入費の補助を行なっている。将来、本市農業を担う若い方々の要望を聞きながら、今後も支援策を検討していきたい。

Q 高齢化社会に伴い民生委員の皆さんの負担が高まっている。活動費について見直しをすべきと考えるがどうか。

A 過疎化が進む本市において、独居老人世帯や要援護者世帯が増え、民生委員の役割はこれまで以上に重要となっている。今後、県内市町村の状況や民生委員児童委員協議会との意見交換なども踏まえて検討したい。

無形文化財の継承のために 伝統芸能伝承館の新設を！



笹原 和子議員

Q 尾花沢雅楽と祭囃子の練習は伝承のために必要不可欠であるが現在の地区公民館はサルナートに借りのため、他の団体との競合により練習場所の確保が困難な時がある。伝統芸能伝承館を併設した地区公民館の建設を進めてはどうか。

A 文化財を伝承していくためには後継者の育成・指導が極めて重要である。また、楽器や装束などの経年劣化も進んでいるため支援して行きたい。地区公民館については区長会からの要望もあり、今後中央公民館運営審議会や地域の方と一緒に考えて行きたい。



まつり囃子

Q 中心商店街の活性化を図る上で空き店舗を活用し、産直グループや民芸品等のネット販売施設として利用してはどうか。

A 以前、商店街共同組合と連携して空き店舗活用の事業に取り組んできた。ネット販売については、観光物産協会で取次ぎも行なっている。

Q 尾花沢産コシアブラから基準値を超えるセシウムが検出されたが、市内で生産している野菜等について検出

される可能性はないか。また、今後は市独自で検査すべきと考えるがどうか。

A 5月13日に県が市内4ヶ所のコシアブラとJAみちのく村山でも集荷販売や産直している7種類の山菜の検査を行なったが、基準値超えの放射線は不検出、東日本大震災以降流通量の多い穀物類5品目、野菜24品目、果実類9品目など全ての農産物の随時検査を行ない、これまでに基準値を超える放射能物質は検出されていない。県では来シーズン自生コシアブラについて初出荷から検査を実施し、市は今後も県や関係機関と連携し、食の安全性を確認していく。

子育て日本一おばなざわ 保育園や学校環境の充実を！



塩原未知子議員

Q 活断層の真上に建設されている避難所におもだか保育園・尾花沢中学校が公表された。今後地震発災時の対応はどうするのか。また公園や指定避難所に防災トイレを設置する考えはないか。

A 建物は耐震化されているので当面は使用していくが、改築のさいは移転したい。指定避難所に2カ所以上の地区が分かれて利用する所は各区長と相談の上で自主防災組織の対応もあわせて検討したい。発災時に水道が止まる事も考えられるため防災トイレは有効であり今後検討していきたい。

Q 市内児童の半数が通う尾花沢小学校のバリアフリー化とトイレの充実を要望する。

A 昨年より総合教育会議で教育大綱が示されている、これに沿って公立学校の国庫補助事業などを活用して小学校のトイレの改修やバリアフリー化も検討したい。

Q 人口減少で参加する地域の住民が減っているが、今年のおばなざわ花笠まつりの祭行列パレードはどうか。

A 昨年若葉町を巡回しており、今年は時間を30分間延長して北町の一部も巡回する予定。

Q 新庁舎建設にあたり中心市街地のまちづくりの見直しが必要だと思いが、特に北町地区再開発計画はどのように進んでいるのか。



北町地区に点在する主な市有地 (平成28年7月現在)

『夏スイカ生産量日本一のまち』PR看板の設置を！



青野 隆一議員

Q 徳良湖周辺の記念植樹について、市と植樹者の役割分担を明記した要綱を作ってはどうか。

A 記念植樹をして頂いたあと枯れてしまったり、プレートが破損しているものがある。記念樹は管理面で難しい部分があるが、徳良湖築堤100周年を控え、周辺の整備とあわせて記念樹に関する規定・規約の整備を進めていきたい。

Q 学校給食費の第3子軽減を拡大するなど「第3子支援日本一のまち」を目指してはどうか。

A 子育て支援については保育料の減免を先

駆けて実施するなど色々な分野で取り組んでいる。給食費の第3子軽減は現在59名の児童が該当しているが、第1子の軽減要件を18歳までに拡大すると更に48名の増となり、今後の課題と考える。

Q 高齢者が運転免許証を自主返納した場合2千円分のバス乗車券を交付しているがさらに充実を図る考えはないか。

A 運転免許証を自主的に返納された方はこの3年間で55名となっている。この事業は高齢者の交通事故の減少を図る事を目的としていることから、運賃補助額を増額することにより、自主的に返納していただく件数の増加にもつながると考えるので他市町の状況なども参考にしながら検討したい。



J Aみちのく村山東部スイカ選果施設

日本一のまち」を広くPRするために今期の出荷に合わせて看板を設置してはどうか。

A 東部スイカ選果施設もリニューアルされ更なるブランド化が図られるものと期待している。看板設置は産地をさらにPRするための有効な手段と考えるので関係機関と連携し、検討していきたい。

畜産農家の強化を図れ



星川 睦子議員

Q 繁殖雌牛増頭事業補助金は頭数を増やす場合のみに限られている。子牛価格が高騰を続けているなかで、自家で繁殖しなければと考えている畜産農家のために子牛を増やす場合に限らず繁殖牛を購入する場合すべてを対象にすべきと考えるがいかがか。

A 本事業は和牛繁殖雌牛増頭に対する助成を行なうものであり、一頭あたり5万円を一農家5頭分を上限としている。先の産牛協議会において補助要綱について審議された経過もあり、今年度の事業状況を把握することがまずは重要と考える。

Q 宝栄牧場について管理体制の強化を図るべきではないか。また事故などの補償制度に補助金を出して補償金を充分支払える制度を作るべきではないか。

A 以前は牧場内で種付けも行なっていたが、現在は育成牛と種付け済みの牛のみを放牧しており、夜間の常勤は必要がないと考えている。管理体制は、本年度より元JA畜産部職員などの経験者を牧場に雇用し強化を図っている。補償制度については、宝栄牧場互助会において放牧牛一頭あたり千円を積み立てし、補償している。

Q 地域ごとに子どもが遊び大人がくつろげる広場を造ってはどうか。子供たちの遊び場が少なくなっている。一方、市内に空き地が目立つようになり、街の印象が良くない。空



き地を活用し、誰もが利用できる広場を整備したかどうか。利用地の固定資産税を減免するなどの施策も併せて対応できないか。

A 市内の公園については計画的に整備を進めているが、コンパクトな広場が住宅地や商店街の近くに整備されれば地域の活性化につながるものと捉えているので減免措置と併せて検討したい。

「コシアブラ」汚染問題 放射線から命と生活をどう守るか



鈴木 清議員

Q 放射能汚染食物を食べることで起きる「内部被曝」の怖さをどう認識しているか。

A 放射性ヨウ素・セシウム等により、子供は大人より影響をうけやすく、甲状腺異常・がんや白血病になると認識している。

Q 本市産コシアブラが山梨県内で厚生労働省の放射性物質検査を受け、安全基準100ベクレルを超えた問題について、その発生原因・流出原因、今後の対策についてうかがう。

A 県や関係機関と連携し、事実確認を行い追加検査を実施したが基準値を超えるコシアブラは無かった。今後、

食の安全性を確認し、風評被害を未然に防ぎたい。

Q 宮城県に加美町でコシアブラの出荷制限区域指定が行なわれているが、本市はそれを認識し周知していたか。

A 現在14県で出荷制限食品が設定されているが、これまで市民への広報は行なっていない。

Q 子どもは大人よりも「内部被曝」を受けやすいが、学校給食に使用する食材は、放射能検査が済んだ安全なものであるか。

A 学校給食の食材は山形県学校給食会と市内小売店18業者で運営する尾花沢給食物資納入協力会から購入している。食材の検査は、学校給食会の食品検査技師が3ヶ月に1回定期的に検査している。



放射線検査装置

Q 風評被害を防ぎ、市民が安全に食べ、販売ができるように、市で放射線検査装置を購入するなどして市民が検査に利用できるようにしてはどうか。

A 放射能の正確な測定値が公表されなければ、更なる風評被害も懸念されるため、専門業者に依頼し、安全安心につなげたい。

新庁舎の基本設計は再度見直しせよ



奥山 格議員

Q メイン玄関のある東側駐車場は駐車面積が小さく、バス用のスペースも考えると狭くて危険だと考える。メイン玄関を南側にすべきではないか。

A 庁舎内の窓口部門のワンストップサービスのフロア全体の市民の動線を考慮し、東側に正面玄関を配置した。また、現在の庁舎では

冬季間、駐車場の一部が雪置き場になり狭くなるが、新庁舎では通年の駐車台数が変わらないので、利便性を損なわないと考えている。**Q** 利用者が多い保健センターに関して、混雑を避けるために保健センター専用の玄関と

トイレを設けるべきではないか。もしくは現在の保健センターをそのまま継続的に使用することはできないのか。

A 保健センターについては、玄関及びトイレを別個に設けず、健診時は玄関先やトイレ前に案内表示を設けるなど、健診される方が優先してご利用いただけるよう対応したい。

また、現在の保健センターの継続的使用についてはこれを使わないで、市民の利便性を第一に考え、新庁舎と保健センターを一体的に整備することにした。

Q エネルギー棟から庁舎までの距離が30m位離れていて市道をはさむが、熱効率やメンテナンスの上で問題はないか。またエネルギー棟の概算事業費は

高くはないか。**A** 熱効率や設備配管の距離については他市

の施設においても距離があり、配管に保温材等を施すことでエネルギーロスはほとんど認められていない。事業費が割高になるのは雪冷房や木質ペレットボイラーの再生可能エネルギー関連設備の費用が入るためである。

Q エレベーターは2か所ではなく真中に一つとし、逆に階段を2ヶ所ではなく3ヶ所にした方が、便利であるし、非常時に避難もしやすいのではないか。**A** バリアフリー対策の観点から高齢者や子ども、お体の不自由な方の移動負担軽減のため2ヶ所にした。また、階段の増設は、基本設計のレイアウト全体の根本的な見直しが必要で、不可能である。

特集

18才はじめての 投票!!

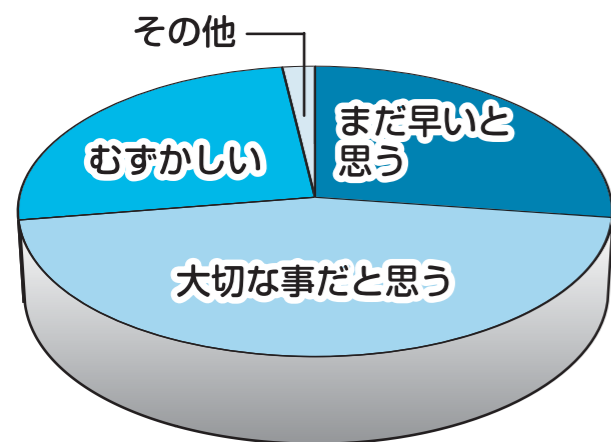
北村山高等学校の
3年生112名の皆さんより
アンケートのご協力を頂きました。

なぜアンケートを行ったか？

選挙年齢の引き下げに伴い、地元北村山高校へ通う3年生の意識調査を行いました。

Q1. 18歳からの選挙権をどう思いますか。

まだ早いと思う	27%
大切な事だと思う	46%
むずかしい	25%
その他	2%



Q3-1.

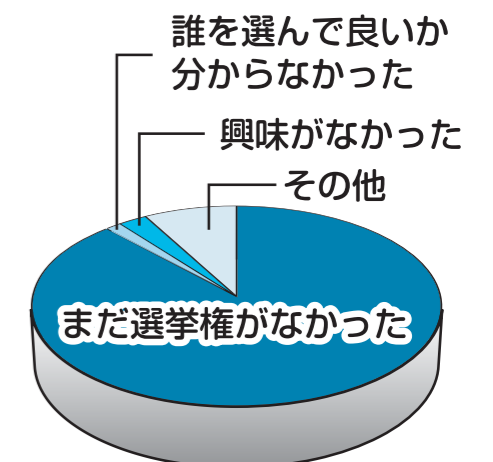
今回の参議院選挙に行きましたか。

行った	27人
行かない	80人

Q3-2.

行かなかった理由は

まだ選挙権がなかった	88%
興味がなかった	1%
誰を選んでよいかわからなかった	3%
その他	8%



Q2. 将来の事について何に関心がありますか。

就職について	76人
進学について	43人
経済について	35人
子育てについて	34人
結婚について	30人
老後について	25人
安全保障について	16人
国の借金について	16人
親の介護について	14人
その他	6人

(複数回答可)

アンケート結果を受けて

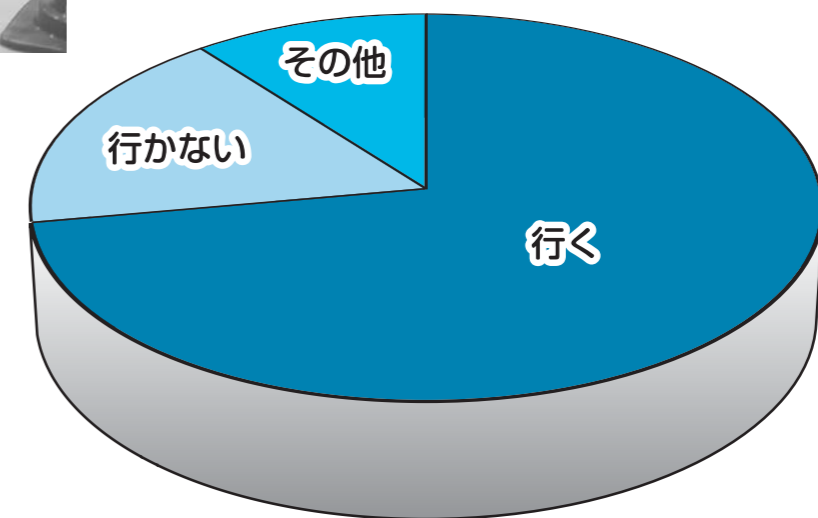
回収率95.5%、回答者107名中36名の有権者（平成28年7月11日までに満18才になる国民）のうち27名が選挙に行きました。

今回の選挙では、選挙権がまだ無い71名も「Q4 今後、選挙に行きたい」とする割合は72%と、高い水準になりました。

アンケートに答えてくださった高校生の意識は高く、今後、社会への関わりとともに選挙、政治への参加が大いに期待されます。

Q4. 今後、選挙に行きますか。

行く	72%
行かない	17%
その他	11%



3年生の初めと
あひがひんぱんにくるかもです。

「いただいた意見から」

若い人の意見は、もちろん今は必要だと思います。でも、18歳からになったので選挙やどんな党が何をしているのかを高校で学べるようになったら、もっと色んな人が関心を持つと考えます。

広域組合議会の報告



建設途中のし尿処理施設(撮影:6月27日)

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

6月臨時会が6月24日、組合議場で開催された。平成28年3月31日付けで県の同意額に合わせ、地方債補正限度額の変更を行う専決処分を含む、2件を承認した。また、公共下水道への接続による銀山建設費1千400万円尾花沢市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算を含む2議案を原案のとおり可決した。

採択された請願

◎平成28年請願第2号

桒町地内市道笠松線(通称上町小学校線)西側流雪溝整備及び市道IV-38号道路(笠松西側裏小路)改良促進に関する請願
 桒町第2町内会 区長 笠原征男



桒町笠松線

◎平成28年請願第3号

鶴子第3区内農道(河原地区)の市道編入に関する請願
 鶴子地区 連合区長 永沢義信
 第1区長 熊谷秋男
 第2区長 伊藤富蔵
 第3区長 西塚憲一



鶴子ハス公園までの滑落した農道

◎平成28年請願第4号

市道北裏線道路の拡幅と整備促進に関する請願
 北町区長 和田 暁



北町地区の狹窄市道

議 会 日 誌

4月

- 1日 議会事務局辞令交付式
- 4日 東北中央自動車道建設促進協議会要望活動
- 7日 市内小中学校入学式
- 8日 北村山高校入学式
- 14日 総務文教常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 18日 県縦断駅伝北村山チーム結団式
- 21日 市観光物産協会総会
- 22日 第68回東北市議会議長会定期総会
- 23日 徳良湖クリーン作戦 ①
- 24日 春季消防大演習 ②
- 28日 農業委員会総会
- 5月
- 9日 尾花沢市民生児童委員総会
- 10日 国道37号「絆」交流促進協議会第3回総会
- 11日 村山北部土地改良事業推進協議会監査
- 12日 議会改革検討委員会世話人会
- 16日 尾花沢市農業再生協議会通常総会 ③
- 16日 全員協議会
- 19日 市民厚生常任委員会所管事務調査 ④
- 23日 尾花沢市山岳遭難対策委員会総会
- 24日 山形県市議会議長会県知事との懇談会
- 25日 山形新幹線延伸早期実現期成同盟会
- 27日 第20回北村山森林組合通常総代会
- 28日 社会福祉徳良会評議員会
- 30日 岩沼市千年希望の丘植樹祭 ⑤
- 30日 議会改革検討委員会世話人会
- 31日 尾花沢市防犯協会総会
- 31日 全国市議会議長会第92回定期総会

6月

- 1日 全国市議会議員共済会第112回代議員会
- 2日 総務文教常任委員会 所管事務調査
- 尾花沢産牛振興協議会総会
- 3日 全員協議会
- 7日 みちのく村山農協第21回通常総代会
- 8日 特別医療法人敬愛会定時評議員会
- 9日 尾花沢市遺族会連合会総会
- 10日 交通安全母の会総会
- 環境衛生事業組合衛生常任委員会
- 13日 北村山公立病院決算審査
- 14日 全国市議会議長会表彰式 ⑥
- 本会議 ⑧
- 議会だより編集委員会 ⑦
- 7月25日 ⑨
- 総務文教・産業建設常任委員会
- 全員協議会
- 17日 花のかけはし事業ボランティア活動
- 19日 新規学卒地元就職者激励会並びに優良従業員表彰式
- 20日 尾花沢市身体障害者福祉協会総会
- 22日 福祉ネットワーク(福祉隣組)づくり連絡会議
- 24日 環境衛生事業組合6月臨時議会
- 25日 市ひとり親家庭学習支援事業開所式
- 26日 第3回元気おばね「絆」駅伝大会 ⑦
- 27日 村山北部土地改良事業推進協議会総会

7月

- 1日 重要事業(県)要望活動
- 4日 国道37号改良促進期成同盟会監査
- 北村山高等学校教育振興会総会
- 7日 東北整備局・山形河川国道事務所 要望活動
- 8日 市青少年育成市民会議総会
- 11日 北村山公立病院議会 議会運営委員会
- 北村山地域開発推進協議会総会
- 12日 「第66回社会を明るくする運動」尾花沢市民集会
- 16日 山形県市議会議長会国会議員との懇談会
- 19日 総務文教・市民厚生常任委員会行政調査 ⑧
- 25日 北村山公立病院議会 第2回定例会
- 29日 全員協議会

